

産業廃棄物処理計画書記載例

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		平成〇〇年6月〇〇日
静岡県知事 殿		
提出者		
住所 静岡県〇〇市〇〇町〇番〇号 氏名 〇〇製造 株式会社 代表取締役 静岡 太郎 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 012-345-6789		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	〇〇製造 株式会社 A工場	
事業場の所在地	静岡県〇〇市〇〇町〇番〇号	
計画期間	平成〇〇年4月1日～平成〇〇年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	製造業(プラスチック製品製造業)	
② 事業の規模	製造品出荷額 200億円	
③ 従業員数	200名(正社員150名、それ以外の職員50名)	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→自己中間処理(脱水)→自己中間処理残さ→委託処分(埋立) 塵埃プラスチック類→委託処分(サーマルリサイクル)	

事業場の名称には、産業廃棄物を実際に排出している事業場(建設業の場合は、支店名等)を記載してください。

事業場の所在地(建設業で事業場の名称を支店等にした場合は、支店等の所在地)を記載してください。

計画期間は、その年の4月1日から翌年の3月31日までにしてください。

日本標準産業分類上の業種を中分類まで記載してください。

該当する事業場又は支店等の正社員数及びそれ以外の職員数を記載してください。

法人の名称及び法人の代表又は処理計画書作成単位である事業場代表者等について記載してください。

押印は不要です。

製造業: 製造品出荷額
 建設業: 元請完成工事高
 医療機関: 病床数
 その他: 事業規模がわかる実績
 ※前年度実績を記載してください

当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記載してください。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

```

    graph TD
      S[社長] --> I[工場長(廃棄物管理責任者)]
      I --> A[〇〇部]
      I --> B[総務部]
      I --> C[製造部]
      B --> D[総務課]
      C --> E[〇〇製造課  
廃棄物担当]
  
```

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	1,000 t	30 t
	(これまでに実施した取組) 対応：平成〇〇年度に新たな製造設備を導入したことにより、約10%の削減を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	950 t	27 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチック類：製造工程の見直しを行い、製造量あたりの廃棄物検出量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：廃棄物として処理するものと有価物として売却できるものとを分別し、廃棄する量を削減している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類：今後も、上記内容を徹底していく。

現状については、これまでに取り組んでいる内容について、具体的に記載してください。(以下、分別・自ら処理・委託処理に関する事項についても同様)

計画については、当該処理計画期間に実施する取組、及び将来的に実施する取組の内容について、具体的に記載してください。(以下、分別・自ら処理・委託処理に関する事項についても同様)

産業廃棄物の管理体制がわかるような図を記載してください。(記入すべき事項の全てを記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付してください。)

産業廃棄物の種類ごとに前年度の実績値を記載してください。(産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績の欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付してください。(以下、目標値についても同様))

産業廃棄物の種類ごとに今年度の目標値を記載してください。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用を行う計画はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	850 t	0 t
(これまでに実施した取組) 汚泥：平成〇〇年に脱水機を最新鋭のものにし、減量率を向上させた。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	830 t	0 t
(今後実施する予定の取組) -			

自社で直接再生利用した産業廃棄物及び自社で中間処理した後、再生利用した産業廃棄物について記載してください。

自社の焼却施設で熱回収(燃焼のように供することができる廃棄物を熱を得ることに利用すること)を行っている場合は、熱回収に利用した廃棄物の量を記載してください。

自社の焼却・脱水施設等で中間処理を行い、廃棄物の重量を減量した場合は、減量した量(中間処理前の重量－中間処理後の残さ量)を記載してください。

記載すべき事項がない場合は、「-」を記載してください。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまで、自社で埋立処分又は海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋立処分又は海洋投入処分を実施する予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(〇〇年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	150 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	150 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	30 t
(これまでに実施した取組) 廃プラスチック類：有価物以外の全量を認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託している。			

自社の処分場へ直接埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物及び、自ら中間処理した後、自社の処分場へ埋立処分又は海洋投入処分した産業廃棄物について記載してください。

再生利用業者へ委託を行った場合に記載してください。(優良認定処理業者が再生利用業者の場合は、その分を記載してください)

認定熱回収業者以外で、熱回収を行っている業者に委託を行った場合に記載してください。

優良認定処理業者へ委託を行った場合に記載してください。

認定熱回収業者へ委託を行った場合に記載してください。

※委託先の処理業者が優良認定処理業者や認定熱回収業者に該当するかは、認定書等により確認してください。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	120 t	27 t
	優良認定処理業者への処理委託量	120 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	50 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	27 t
	<p>(今後実施する予定の取組) 汚泥：脱水後の汚泥の一部を再生利用業者へ処理委託する。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。

また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画 実施状況報告書記載例

事業場の名称には、産業廃棄物を実際に排出している事業場(建設業の場合は、支店名等)を記載してください。

事業場の所在地(建設業で事業場の名称を支店等にした場合は、支店等の所在地)を記載してください。

日本標準産業分類上の業種を中分類まで記載してください。

計画期間は、前年の4月1日から翌年の3月31日までにしてください。

法人の名称及び法人の代表又は処理計画書作成単位である事業場代表者等について記載してください。

押印は不要です。

目標値については、前年度に提出した産業廃棄物処理計画書に記載した目標値を記載してください。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成〇〇年6月〇〇日

静岡県知事 殿

提出者

住所 静岡県〇〇市〇〇町〇番〇号
 氏名 〇〇製造 株式会社
 代表取締役 静岡 太郎
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 012-345-6789

産業物の処理及び清潔に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成〇〇年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	〇〇製造 株式会社 A工場		
事業場の所在地	静岡県〇〇市〇〇町〇番〇号		
事業の種類	製造業(プラスチック製品製造業)		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成〇〇年4月1日～平成〇〇年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1100 t	全処理委託量	200 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	160 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	900 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	40 t

※事務処理欄

(日本工業規格 A列4番)

前年度の実績(処理計画書の実績値)を記入してください。(産業廃棄物の種類が2以上ある場合は、種類ごとに一枚作成してください。)

② 中間処理せず直接自社で再生利用した量を記載してください。

③ 中間処理せず直接自社の処分場に埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。

⑧ 自社で中間処理をした残さ量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量を記載してください。

⑨ 自社で中間処理をした残さ量のうち、自社の処分場に埋立処分又は海洋投入処分をした量を記載してください。

⑬ ⑩のうち認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量を記載してください。

⑭ ⑩のうち認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量を記載してください。

⑫ ⑩のうち処理業者へ再利用を委託した量を記載してください。

⑩ 中間処理及び最終処分を産業廃棄物処理業者に委託した量を記載してください。

⑦ 自社で中間処理により減量した量(④から⑥を引いた量)を記載してください。

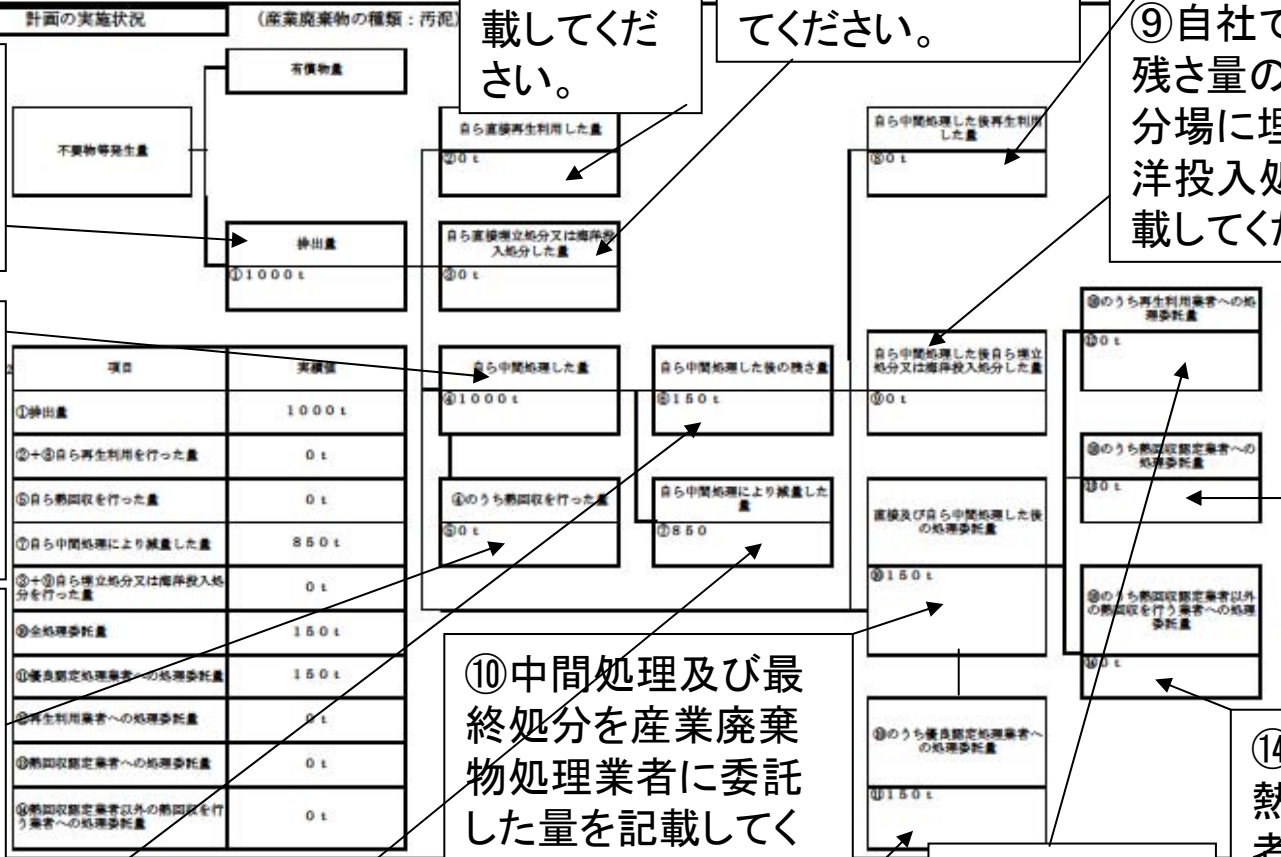
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者へ委託した量を記載してください。

① 排出された産業廃棄物の総量を記載してください。

④ 自社で中間処理をした産業廃棄物の量を記載してください。

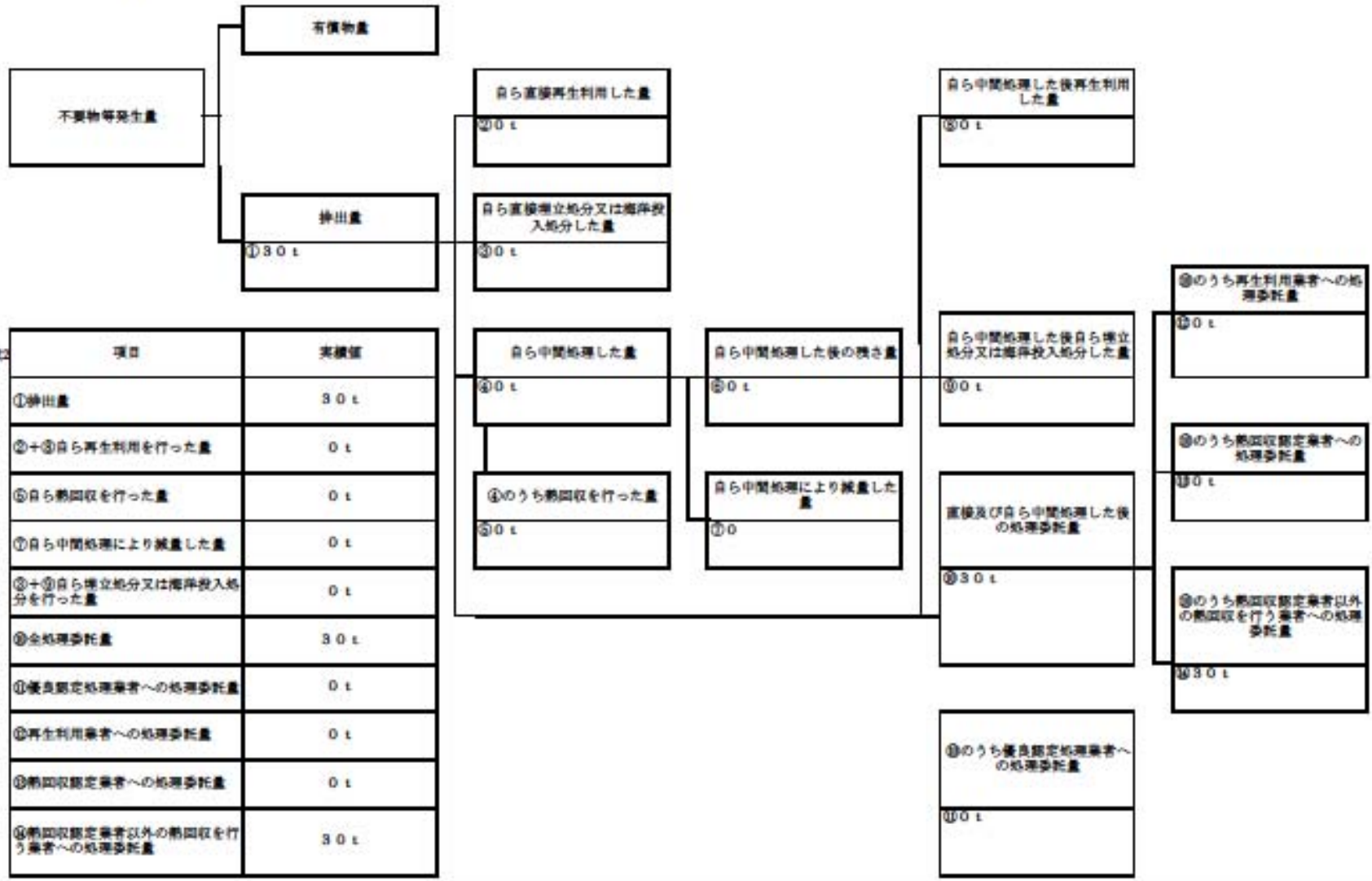
⑤ 中間処理をした産業廃棄物のうち、自社で熱回収を実施した量を記載してください。

⑥ 自社で中間処理をした後の残さ量を記載してください。



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付する。
- 7 ※欄は記入しないこと。